

平成26年度事業報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

NPO法人どんまい

1 事業実施の方針、活動について

①共同生活介護事業所どんまいハウスでは、精神障がい者の方の社会促進を目指し、当事者の方が安心して自分らしく地域で暮せるように生活の場、相談サポート体制を充実させました。また、地域移行支援事業による退院促進の一環として、松山市のチャレンジ事業と委託契約を行い、社会的入院を余儀なくされている方の外泊体験や、家族や住宅環境に問題が生じ入院の必要がないにも関わらず入院せざるを得ない状況になった当事者の方の外泊体験、ショートステイ事業に寄与しました。また、今年度は松山市の地域移行定着事業とピアサポート事業に則り、ピアサポーターが中心となって定期的に施設を開放し、社会的入院等の方々グループホームの見学や体験ができる環境を整えました。

②就労継続支援B型事業所どんまいクラブは、平成27年3月末現在で定員20名、登録者数27名、平成26年度平均通所者数19.6名となっています。主な授産事業は、施設外就労として現在11棟のマンション清掃業務を行っています。松山障がい者共同受注窓口を活用して自主製品の販売や清掃作業、委託作業の場を広げるとともに、グループホームの献立やレシピ作成など新たな分野にも積極的に取り組んだことで、利用者の工賃向上への意識が高まっています。

③就労継続支援B型事業所ゆっくりクラブは平成27年3月末現在で定員20名、登録者数35名、平成26年度平均通所者数18.6名となっております。今年度から障害者就労施設によるお弁当・デザート共同販売(県庁マルシェ)に参加し、また味酒心療内科と給食業務委託契約を締結し、営業・販売ルートを少しずつ拡大しながら、順調に売り上げを伸ばしました。利用者一人ひとりに適した支援に努めることが利用者の工賃向上と、利用者のモチベーションアップをもたらしました。

④指定一般・特定相談支援事業所まいんは平成26年3月末現在、契約数は計画相談(62名)、地域移行相談(4名)、地域定着相談(3名)です。今年度受けた件数は、計画相談(70名)、地域移行相談(8名)、地域定着相談(4名)です。計画相談では、利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等に努め、サービス利用計画書の作成及び評価を行いました。地域移行については、一人でも多くの人が地域での生活を取り戻せるよう、退院を目指す長期入院の利用者の相談、支援を行っています。

⑤就労継続支援B型事業所いんさつの咲々屋は、平成26年8月にゆっくりクラブ従たる事業所から単独事業所として定員20名で開所しました。平成26年度の平均通所者数は15.1名で登録者数は22名でした。主な授産事業は印刷事業で、ICT・印刷の共同受注窓口である『えひめICTチャレンジド事業組合(e-ICA)』に登録し、他の事業所と情報交換や受注拡大に向けて取り組みました。

8/1~3/31 従事者5名 人数22名

法人としては松山市の地域移行検討会への参加、ピアサポートマネージャーとしての協力、ピアサポーターの育成、法人連絡協議会への参加、こころの健康フォーラム実行委員会への参加、各大学、専修学校から実習性の受け入れなど、地域の精神保健福祉関係事業に積極的に参加協力しました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 事業

定款の 事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	人数	支出額 (千円)
障害者総合支援法 に基づく障害者福 祉サービス事業	共同生活介護事業所 どんまいハウス	4月1日 ～3月31日	松山市内	22名	松山市内の精 神障害者28名	61,077
	就労継続支援B型事業所 どんまいクラブ	4月1日 ～3月31日	松山市内	6名	松山市内の精 神障害者29名	27,828
	就労継続支援B型事業所 ゆっくりクラブ(主たる、従た る事業所)	4月1日 ～3月31日	松山市内	7名	松山市内の精 神障害者50名	54,971
障害者総合支援法に 基づく相談支援事業	一般・特定相談支援事業所 まいん	10月1日 ～3月31日	松山市内	1名	松山市内の精 神障害者24名	2,436
その他、当法人の目的 を達成するための事業	内外主催の研修会、他事業所の 交流会、勉強会、実習生受け入 れなど	4月1日 ～3月31日	松山市内	36名	全職員、実習 生	591

平成26年度NPO法人どんまい活動報告書

- 4/1 どんまいクラブ職員1名入職、どんまいハウス職員1名入職
- 4/8 共同募金分配式
- 4/17 地域生活移行検討会（職員1名）
- 4/23 職員研修「障害支援区分」
- 5/7 精神保健福祉支援連絡会議（松山市総合福祉センター）
- 5/13 法人連絡協議会出席（部長）
- 5/14 明星会総会出席（職員2名）
- 5/17 第13回NPO法人どんまい社員総会
- 5/27 職員研修「虐待防止法」
- 6/1 ゆっくりクラブ職員3名入職
- 6/4 ふれあいスポーツ参加
- 6/17 地域移行、ピアマネージャー連絡会
- 6/24 法人連絡協議会勉強会
- 6/24 松山市総合防災の消防設備点検（各施設）
- 6/29 精神保健福祉研修会
- 7/1 まいん職員1名入職
- 7/2 精神保健福祉支援連絡会議（松山市総合福祉センター）
- 7/7 地区フォーラム打ち合わせ（職員1名）
- 7/8 法人連絡協議会出席（部長）
- 7/9 職員全体会議
- 7/10 こころの健康フォーラム運営委員会
- 7/15 障害福祉分野人材育成事業者説明会
- 7/19 地域生活移行検討会、ピアマネージャー等連絡会（職員1名）
- 7/23 どんまいクラブ職員1名入職
- 7/24 こころの健康フォーラム幹事会
- 7/29 職員研修「ピアサポートについて」
- 8/1 いんさつの咲々屋開設
- 8/7 松山市ピアサポート事業（西条講習会）
- 8/7 こころの健康フォーラム運営委員会
- 8/25 愛媛県障害者相談支援事業所初任者研修（職員2名）
- 8/26 職員研修（精神疾患について）
- 8/28 こころの健康フォーラム幹事会
- 9/3 精神保健福祉支援連絡会議（松山市総合福祉センター）
- 9/5 第9回NPO法人どんまい夕涼み会（参加者98名）
- 9/9 法人連絡協議会出席（部長）、
- 9/10 ピアサポーター交流会（職員）
- 9/11 聖カタリナ大学より新卒者見学

9/18 こころの健康フォーラム運営委員会
9/25 こころの健康フォーラム幹事会
9/26 きらりの森評議員会
9/30 職員研修（地域移行とピア）
10/2 松山記念地域移行交流勉強会
10/4 若草福祉祭り参加
10/16 地域生活移行検討会（職員2名）
10/16 こころの健康フォーラム運営委員会
10/26 精神保健福祉士公開講座
10/28 愛媛県障害福祉サービス事業者集団指導（職員2名）
10/29 ピアマネージャー連絡会
10/29 スポレク・バレーボール大会（道後身障者センター）
10/30 愛媛県障害福祉サービス事業者集団指導（職員2名）
11/5 精神保健福祉支援連絡会議（松山市総合福祉センター）
11/5 こころのふれあい講座（利用者・職員）
11/6 松山市保健所ネットワーク研修会（1回目）
11/8 新玉フォーラム開催
11/11 法人連絡協議会出席（部長）
11/14 サービス管理責任者研修（2名）
11/15 虐待防止セミナー参加（3名）
11/20 松山記念地域移行交流勉強会
11/21 NPO法人どんまい 忘年会
11/25 松山市保健所ネットワーク研修会（2回目）
11/27 ピアサポーター交流会
11/27 職員研修「相談支援初任者研修」
11/28 サービス管理責任者研修（2名）
12/2 松山記念地域移行交流勉強会
12/10 愛媛県社会福祉協議会管理者研修
12/15 虐待防止セミナー参加（2名）
12/25 どんまいクラブ実地指導
12/16 松山市保健所ネットワーク研修会（3回目）
12/19 どんまいピアサポーター交流会
1/7 精神保健福祉支援連絡会議（松山市総合福祉センター）
1/13 法人連絡協議会出席（部長）
1/15 ピアサポーター交流会
1/23 ピアマネージャー連絡会
1/23 きらりの森評議員会
1/27 職員研修（感染症について）
2/5 いんさつの咲々屋 実地指導

- 2/13 こころの健康フォーラム展示担当者会（職員2名）
2/14 ピアサポーター交流会
2/19 松山記念地域移行交流勉強会
2/20 精神障害者社会復帰研修会
2/24 職員研「研修発表」
2/25 ピアサポーター交流会
2/28 えひめ精神科医療チーム研修会
3/4 精神保健福祉支援連絡会議（松山市総合福祉センター）
3/10 法人連絡協議会出席（部長）
3/15 こころの健康フォーラム開催
3/19 松山記念地域移行交流勉強会
3/20 ピアマネージャ意見交換会
3/25 障害者施策等に関する説明会（職員3名）
3/25 職員研修（初任者研修）
3/27 きらりの森評議員会

- 毎月 第2水曜日 事業所会議
第2水曜日 合同カンファレンス
第3水曜日 運営委員会
第4火曜日 スタッフ会議

平成27年度事業計画書（案）

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

NPO法人どんまい

1 事業実施の方針

法人は、障害者共同生活援助事業所、障害者就労継続支援B型事業所、一般・特定相談支援事業所の運営を事業の柱として、精神障害者の主体性、選択性を尊重した仲間作り、生きがい作り、障害者の人権に配慮したまちづくりに寄与したいと考えます。

- ① 障害者共同生活援助事業所どんまいハウスにおいては、社会的入院を余儀なくされている方たちの退院後の生活のサポートが出来る“どんまいハウス”（こだち、いずみ、こもれば、わかば、ひなた）5施設の運営をして社会的入院の人の退院促進を進め、入居者の単身生活に向けた自立へのサポートをしていきます。入居者の方の主体的な生活を目指し、日常生活の自立支援、行事参加等も積極的に取り入れ、社会参加の機会を作ります。また、入居者の高齢化に伴い人員の配置を増やし、より手厚い支援が行えるように事業展開をしていきます。
- ② 就労継続支援B型事業所“どんまいクラブ”では、利用者に対して就労の機会を提供すると共に適切な指導、訓練を継続して、利用者が自立した日常生活、社会生活を営むことが出来るよう支援を行っていきます。27年度も施設外就労として対象11物件のマンション清掃を継続いたします。委託作業の充実を図ると共に、自主製品の開発、販売、法人内GHの朝食、夕食の献立・レシピ提供事業の更なるレベルアップを行い、工賃向上に向けて計画的に事業を展開していきます。
- ③ 就労継続支援B型事業所“ゆっくりクラブ”では、日中活動や生産活動、その他の活動機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な支援をすると共に適切な指導、訓練を行っていきます。弁当配食事業は更に売り上げの増加を計りながらも、お客様の声を大切にしてお弁当作りに向上心を注いでいくことに努めていきます。利用者の体調の安定とスキルアップを心がけ、今後の一人一人の生活設計に役立つ力をつけていきます。また、地域の行事にも積極的に参加していき、利用者が地域とともに暮らしやすくなる為に法人の活動や障害への理解を伝えていき、地域に根差した事業所を展開していきます。
- ④ 一般・特定相談支援事業所“まいん”では、地域移行支援事業・地域定着支援事業計画相談において、長期に入院している精神障がい者の方、また地域生活の維持が困難になっている方が出来る限り地域で自分らしい安心した生活を送れるように、必要なサービスの調整や支援を行います。また、計画相談では個別ニーズに対応できるよう、適切な相談、助言、援助等に努め、本人の希望する生活を実現できるよう、サービス利用計画書の作成及び評価を行います。
- ⑤ 就労継続支援B型事業所いんさつの咲々屋では、日中活動や生産活動、その他の活動機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な支援をすると共に適切な指導、訓練を行っていきます。共同受注の活動にも参加し、一人ひとりの特性や得意なことを活かし協力しながら利益向上を目指します。また、他機関と連携を図り、施設外支援や研修など就労支援も行います。
- ⑥ 法人として地域の活動に貢献すべく、地域行事への参加や啓発活動、また、行政の事業である地域移行定着支援事業、チャレンジ事業やピアサポート事業等に積極的に協力参加し、役割を果たせるべく進めていきます。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施日 時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支出見込額 (千円)
障害者総合支援法 に基づく障害者福 祉サービス事業	共同生活援助事業 どんまいハウス	通年	松山市内	22名	松山市内の精神 障害者30名	66,800
	就労継続支援B型事業 どんまいクラブ	通年	松山市内	6名	松山市内の精神 障害者約30名	32,700
	就労継続支援B型事業 ゆっくりクラブ	通年	松山市内	7名	松山市内の精神 障害者約40名	38,500
	就労継続支援B型事業所 いんさつの咲々屋	通年	松山市内	5名	松山市内の精神 障害者約25名	34,200
障害者総合支援法に 基づく相談支援事業	一般・特定相談支援事業所 まいん	通年	松山市内	2名	松山市内の精神 障害者約80名	7,650
その他、当法人の目的 を達成するために必要 な事業	松山市のピアサポート事 業チャレンジ事業等への 参加協力、内外主催の研修 会、他事業所との交流会、 勉強会など	通年	松山市内	42名	全職員及び実習生	1,000